

今月は監事会にて年度末監査の内容と次年度監事会の運営について協議を行いました。

理事の活動

今回は、藤田理事が会長を務める石川西地域協議会の活動を紹介します。

石川西地域協議会の活動紹介



藤田 美由紀 理事

好きなコープ商品
かたあ〜い絹



組合員の皆さんに協議員として参加していただいている地域協議会は県内に四つあり、その一つである石川西地域協議会をご紹介します。

私達の活動のモットーは、「笑顔ででかけ、笑顔でもどる」です。私達は一組合員であり、私達が日々思うことは、生活をより良いものに笑顔で一日を送りたいということです。このような組合員の率直で素直な思いで活動していきたいと思っています。毎月の生協事業報告を受け、数字的に確認し、寄せられた声に共感し、また知りたい、体験したいことを持ち寄り、学習会の企画運営を行い、組合員のお役立ちになれるよう頭をめぐらせます。

昨年、組合員の声を受け、地域協議会として初めての県外メーカーバス企画を開催し、直接訪ねたことによって「商品に愛着がわいた」と参加者に大変喜ばれました。先日の学習会では、試食した参加者の具体的な生の感想をぜひ商品開発にとり入れたいというメーカーの言葉に、双方充実した時間となりました。防災、季節を感じる親子行事、ピースコンサート。さまざまな分野で皆さんの知りたい、体験したいことを応援します。ぜひ、声をお寄せください。また企画する側に興味があったら、ぜひ手を挙げてくださいね。立場が違ってもまた世界も違ってきて楽しいですよ。

これからも魅力ある石川西地域協議会活動で、皆さんのお役に立ちに頑張っ

理事長コラム

『SDGs ～世界を変えるための17の目標～』

総代のみなさまはSDGs（エス・ディー・ジーズ）という言葉をご存知ですか？SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。それは、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。「持続可能な開発目標」という意味は、この地球に住む人々の社会と環境を永続的によりよくするために、全世界の人々が目指す目標とも言えばもっとわかりやすいでしょうか。

私たちは、コープいしかわの前身の生協時代から、生産者と手を結び環境にも優しい産直活動を推進してきましたし、牛乳パック回収はじめリサイクル活動にも長年取り組んできました。

最近の取り組みでも、沖縄県恩納村のもずくの商品利用によりサンゴ植樹をすすめる取り組みや、「エシカル消費」の取り組み、また「のとも〜る」商品は能登地域を元気にしたいという思いから、地域ぐるみで商品開発を進めてきました。

世界的にはまだまだ内戦や難民問題が続いていますし、先進国でも特に日本で格差が広がっていると指摘されています。SDGsの目標は下記のように17あり、それぞれ関連しています。国連加盟国だけでなく、様々な企業や団体と私たち協同組合が一緒になって取り組みことがたいへん大事なことです。私たちも自分自身のこととして、これからさらにどんなことができるか考えていきましょう。



理事長 長谷川隆史

